

記入例

印鑑は全て入札参加資格申請に使用した代表者印を使用すること。
年間委任を受けている場合は、受任者の印を使用すること。

日光市建設工事変更請負契約書

収入印紙 **消印**

1 工事名 ○○○事業 ○○○工事

2 工事箇所 日光市○○○地内

3 変更工期 着手 { 令和○○ (○○○○) 年 ○○月○○日
西暦を括弧書きで併記。 (○○ (○○○○)) (○○) (○○)
完成 { 令和○○ (○○○○) 年 ○○月○○日

指名通知書・公告文・設計書と同一。

・工期変更のある場合: 従前の工期を括弧書きで上段に、下段に変更後の工期を記入する。
・工期変更の無い場合: () は不要。

※工事を施工しない日等の変更が生じた場合

(4 工事を施工しない日 工事を施工しない時間帯 ○月○日～○月○日 等)

4 前請負代金に対する増減額 ¥○○, ○○○, ○○○-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥○○
〔備考〕 () の部分は、受注者が課税事業者で

・増額の場合: 増に○をつける。
・減額の場合: 減に○をつける。
・増減額の無い場合: 「-」を記入する。

5 請負代金変更増減額に対する契約保証金 ¥-

「-」を記入する。

※搬出発生土の搬入先等に変更が生じた場合は、

(6 又は 7 建設発生土の搬出先等 建設発生土の搬出先については設計図書に定めるとおり)

(6 解体工事に要する費用等 別紙のとおり)
※変更が生じた場合のみ記入

・1回目の変更の場合の文言は、「請負契約」。
・2回目以降の変更の場合の文言は、「前請負契約」。

令和 () 年 月 日締結した請負契約は、日光市建設工事請負契約書第●●条の規定に基づき、上記のとおり変更請負契約を締結する。ただし、変更契約についても当初の契約書に記載された条項を遵守するもの

2者JVの場合: 「3」と記入。

この契約の証として本書 2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自 1通を保有する。

・1回目の変更の場合は、当初の契約日を記入する。
・2回目以降の変更の場合は、直前の変更契約日を記入する。

該当する変更内容により記入する。

・工期の変更: 25条
・金額の変更: 26条
・工期と金額の変更: 25・26条
・設計内容の変更: 20条(金額の変更を伴わない場合)

変更契約年月日 令和○○ (○○○○) 年○○月○○日

西暦を括弧書きで併記。

発注者 住所 日光市今市本町1番地
氏名 日光市
市長 ○ ○ ○ ○ 印

受注者 住所 日光市□□□町□□番地
商号又は名称 (株)□□□□
代表者の職氏名 代表取締役 □□□ □□□

印